

FAX(06)388-8785 330-3770

第 29 回 X 線材料強度に関する討論会 企業における X 線回折技術の活用

- ①日本材料学会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 12 月 3 日(木)
- 10:00~17:00
- ⑥川崎製鉄(株)本社(日比谷国際ビル 30 階 A 会議室(受付 20 階))
- ⑧会員 5,000 円, 学生会員 3,000 円, 非会員 7,000 円, 学生非会員 5,000 円
- ⑫11 月 25 日(水)
- ⑬〒606 京都市左京区吉田泉殿町 1-101 日本材料学会

日本金属学会分科会シンポジウム(第一総合分科) 核物性研究手法による材料研究の問題点

- ①日本金属学会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 12 月 4 日(金)
- 10:00~17:35
- ⑥大阪大学基礎工学部 Σ ホール
- ⑧正員 3,000 円, 学生会員 1,000 円, 非会員 7,000 円

⑬〒980 仙台市青葉区荒巻字青葉
日本金属学会 TEL(022)223-3685

第 148 回塑性加工シンポジウム 鋼および非鉄金属材料の熱間・冷間圧延潤滑技術の最近の動向

- ②日本塑性加工学会, 日本機械学会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 12 月 9 日(水)9:40~16:50
- ⑥東京大学山上会館
- ⑦100 名(定員になり次第締切)
- ⑧会員 8,000 円, 学生 4,000 円, 一般 12,000 円
- ⑬日本塑性加工学会
- 〒106 東京都港区六本木 5-2-5
- トリカッビル 3 階

TEL(03)3402-0849 FAX(03)3402-0965

学術講演会・本多光太郎記念講演会

- ②日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 12 月 12 日(土)
- 9:00~17:15
- ⑥福井工業大学 2 号館
- [福井市学園 3-6-1]TEL(0776)22-8111
- (JR 福井駅前より京福バスにて約 10 分「金井学園前」下車)
- 1.学術講演会(9:00~17:15)
- 2.本多光太郎記念講演会

(13:15~14:00)

高速増殖原型炉「もんじゅ」について
動力炉・核燃料開発事業団高速増殖炉もんじゅ建設所担当役 柚原俊一
3.懇親会(会場:福井駅前「金井会館」,
17:30~19:30)会費 3,000 円, 当日受付
⑫11 月 6 日(金)
⑬〒910 福井市学園 3-6-1
福井工業大学機械工学科内
支部講演会実行委員会
TEL(0776)22-8111 FAX(0776)22-8117
斎藤喜一(内)608 北山誠二(内)502
羽木秀樹(内)607

第 7 回「大学と科学」公開シンポジウム『21 世紀の期待をになう超伝導』

- ①第 7 回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会
- ④日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 5 年 1 月 28 日(木), 29 日(金)
- ⑥経団連ホール[千代田区大手町 1-9-4]
- ⑬第 7 回「大学と科学」公開シンポジウム『21 世紀の期待をになう超伝導』事務局
- 〒102 東京都千代田区富士見 2-3-1
- 信幸ビル クバプロ内
- TEL(03)3238-1689 FAX(03)3238-1837

ブックレビュー

●セラミック合成入門●

岩崎 弘通, 金子 泰成共著 1992 年 2 月
(株)アグネ技術センター発行(TEL 03-3409-5329)
A5 判 156 頁, 定価(税込) 2,060 円

近年, ファインセラミックスが注目を集めているが, 本書では, その原料であるセラミック粉末の合成法を易しく解説している。その基となっているのは立命館大学理工学部化学科無機材料化学研究室において行われた練習実験や研究成果をまとめたものである。

まず, 実験室的な合成例として, アルミナ, チタニア, ジルコニア, 窒化アルミ, 六方晶窒化ほう素, および窒化チタンの通常の製法について説明している。つぎに, 新しい合成法として, 電気絶縁性の液体中で二つの金属電極間の火花放電でセラミック粉体を合成するというスパーク法について説明している。この方法によれば, 安定相ばかりでなく準安定相を含む多様性のある粉体を得られる可能性のあること, 得られた粉体から容易にウイスキーの得られること等が示されている。ユニークなのは天然有機物からのセラミック合成法である。これは穀穀中の非晶質シリカや, 米ぬか中のリン成分を利用するもの, および天然有機物の持つ特性の一つである金属イオンとイオン交換性をもつアルギン酸ナトリウムを利用したセラミック繊維の合成等である。これらは天然廃棄物の利用という点でも価値がある。また, その合成法は無機化学者には全く新しい手法であり, 注目に値する。最後に, セラミック合成法に関する基礎的事項や, 粉末の解析法に関する簡単な紹介が載せてある。

全体に記述が平易であり, ここに書かれた順を追っていくと, 目的のセラミックができるように書かれている。試しに何かセラミック材料を作ってみようという時には非常に良い手引き書である。また, セラミックスに関する基礎事項も随所に見られ, 参考文献も多く示されており, 肩の凝らない入門書として良く出来た本である。

(豊橋技術科学大学 川上正博)